

平成26年度 連隊検閲に参加して

茨城地方協力本部

即応予備3等陸曹 平野 武雄

(平成24年3月27日即応予備自衛官採用)



陸上自衛隊の基幹を担う即応予備自衛官として、一体自分のレベルはどの程度のものなのか……。多くの関係部隊も参加するこの連隊検閲において、その評価を自分なりに得ようと参加した検閲でありました。

本検閲にあたり、身体を鍛え（1月の勝田マラソンを皮切りに、検閲迄にフルマラソン等を数回完走し）、事前準備を入念に行い（今迄の訓練を何度もイメージトレーニングし、背囊入組み品、他装備等の準備も確実に）、何よりも常備の方や先輩方に今まで教えて頂いたその成果を全部出し切るつもりで臨みました。

しかし、現実はそう甘くは無く、初日たった10kmの夜間行軍にも関わらず、LAMの重さと背囊の肩への食込みの痛さにやられてペースが大幅に遅れてしまい、前衛班第1分隊LAM手としての任を果たせないばかりか、多くの方にご迷惑をお掛けしてしまいました。今回自分の事ばかりで精一杯になってしまったので、とても仲間を思いやられる余裕が無かったこと大変情けなく思いました。

今回の失敗を繰り返さない為にも、改めて普段のトレーニングでは、リュック等に最低20kgのウエイトを詰めて走るなどして強い体を作り、LAMと背囊の重さにへこたれず、元気に野山を駆け廻るようになりたいと思います。

強靱な身体あってこそ身に付く様々な訓練であり、また慣れない装備（背囊等）の適切な装着方法を普段から身につけておくことは、様々な状況下での行動を素早く対応できるようにするために重要なことであると思いました。

2年前に空自から陸自に移り、当初は「LAMって何?」、「倉庫畳って何?」なんてレベルで皆の動きに付いて行くだけで精一杯でしたが、必死になって訓練に参加をしていたところ、昨年は中隊検閲において優秀隊員を頂きました。その評価に応える為にもこれからも仲間と部隊に貢献し、一回一回の訓練を大切に行きたいと思えます。

そして、今後は更にレベルの高い訓練に参加できるように一生懸命奮闘したいと思えます。今後ともご指導下さいますようよろしくお願い致します。